

令和5(2023)年度特定外来生物クビアカツヤカミキリの被害状況等について

令和6(2024)年6月6日
環境森林部自然環境課・農政部経営技術課

- 公園、住宅地等において新たに3,236本の被害木が確認された。
- 果樹園では、被害樹率は昨年度より微増であった。
- 拡散防止を図るため、市町と連携して監視ポイントを増設し、監視を強化するなど、更なる防除対策を実施していく。

1 公園、住宅地等における新規被害木数

| 年度 | サクラ(本) | その他※(本) | 計(本) |
|-----------------|--------------|------------|--------------|
| H29(2017) | 6 | 2 | 8 |
| H30(2018) | 150 | 69 | 219 |
| R元(2019) | 300 | 99 | 399 |
| R2(2020) | 544 | 90 | 634 |
| R3(2021) | 835 | 144 | 979 |
| R4(2022) | 1,923 | 562 | 2,485 |
| R5(2023) | 2,580 | 656 | 3,236 |

※ モモ、ウメ、プラム等

2 被害確認市町における果樹園の被害発生状況調査結果

| 年度 | 被害樹率(%) | 被害樹種 | 備考 |
|-----------------|-----------|---------------|---|
| H29(2017) | 7 | モモ | 佐野市及び足利市(モモ):全樹調査 |
| H30(2018) | 19 | モモ | 佐野市及び足利市(モモ):全樹調査 |
| R元(2019) | 19 | モモ、ウメ | 佐野市及び足利市(モモ):全樹調査 栃木市(ウメ):被害園周辺を調査 |
| R2(2020) | 17 | モモ、ウメ | 佐野市及び足利市(モモ):全樹調査 栃木市(ウメ):被害園周辺を調査 |
| R3(2021) | 17 | モモ、ウメ | 佐野市、足利市(モモ):抽出調査 栃木市(ウメ):被害園周辺を調査 |
| R4(2022) | 18 | モモ、ウメ、スモモ | 佐野市、足利市(モモ):抽出調査 栃木市、宇都宮市、鹿沼市(ウメ)、 下野市(スモモ):被害園周辺を調査 |
| R5(2023) | 20 | モモ、ウメ、スモモ、アンズ | 佐野市、足利市(モモ):抽出調査 栃木市、宇都宮市、鹿沼市(ウメ)、 小山市(アンズ)、下野市(スモモ): 被害園周辺を調査 |

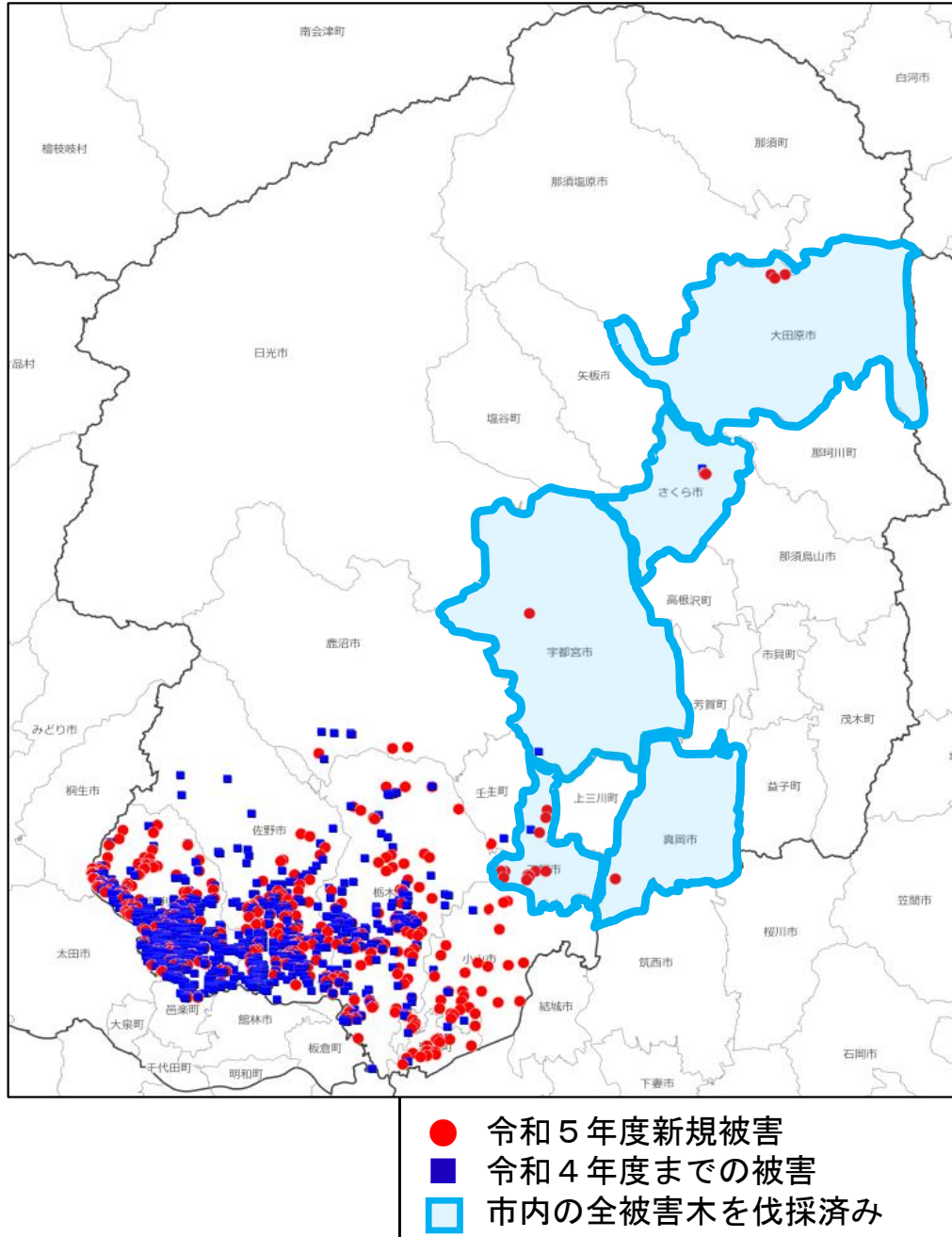
注) 被害樹率=被害樹数/調査樹数(被害樹種)

3 令和6(2024)年度における県の取組

| 項目 | 公園、住宅地等における取組 | 果樹園における取組 |
|------|--|---|
| 防除対策 | <ul style="list-style-type: none"> 被害木伐採への補助※ 市町への資材の配備※ 市町と連携した監視と防除 監視ポイントの増設 | <ul style="list-style-type: none"> 農業者への防除指導、ネット・農薬や伐採等の防除支援 農業総合研究センターにおける試験研究(防除方法の検討等) |
| 体制整備 | <ul style="list-style-type: none"> 外来種被害対策協議会(県・全市町) 関東地方における被害発生都県による会議 | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> チラシ等による県民への注意喚起 防除対策マニュアル等による駆除方法の周知徹底 被害調査の実施※ 市町担当者及び造園業者等を対象とした防除研修の開催 | |

※ 事業費の増額

栃木県におけるクビアカツヤカミキリ被害確認箇所



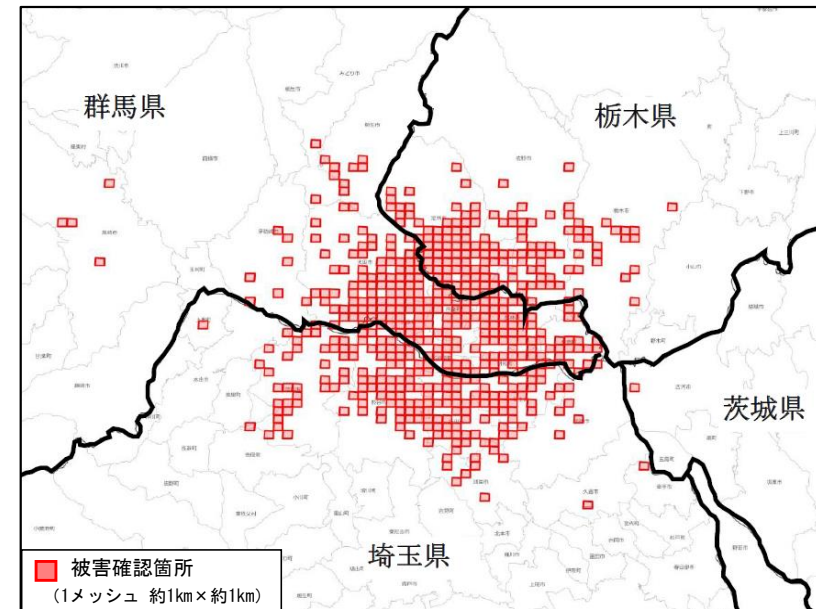
被害確認市町の推移

| 年度 | 市町 |
|------------|--|
| H29 (2017) | 足利市、佐野市 |
| H30 (2018) | 足利市、栃木市、佐野市 |
| R元 (2019) | 足利市、栃木市、佐野市、小山市 |
| R 2 (2020) | 足利市、栃木市、佐野市 |
| R 3 (2021) | 足利市、栃木市、佐野市、小山市、壬生町、野木町 |
| R 4 (2022) | 宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、小山市、野木町、さくら市、鹿沼市、下野市 |
| R 5 (2023) | 宇都宮市(1)、足利市(1, 176)、栃木市(938)、佐野市(818)、鹿沼市(3)、小山市(160)、真岡市(1)、大田原市(5)、さくら市(8)、下野市(22)、壬生町(19)、野木町(85) 計12市町 3,236本 |

注1：カッコ内は果樹園以外の新規被害本数

注2：下線市町は、果樹園の被害も発生

(参考) 両毛地区における被害確認状況 (令和2 (2020) 年度)



<参考資料：クビアカツヤカミキリについて>

1. クビアカツヤカミキリの概要

○生態等

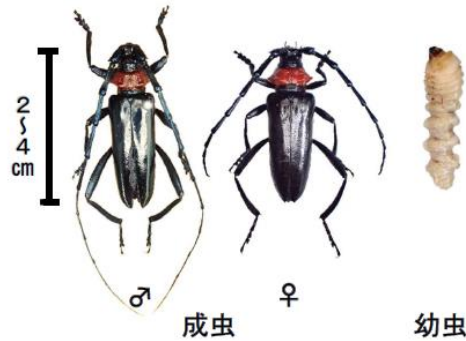
- ・原産地：中国、台湾、朝鮮半島、ベトナム北部など
- ・体長(成虫)：約2.5～4 cm
- ・体の色：全体的に光沢のある黒色で胸部(首部)が赤い
- ・寄主樹木(幼虫)：サクラ、ウメ、モモ、スモモ等の樹木(2～3年で成虫になる)
- ・産卵数：最大1,000個、在来カミキリの3倍程度
- ・成虫が樹皮上に産卵し、孵化した幼虫が生きた樹木の内部に入り込み、樹木の内側を食い荒らす

○法規制

・H30年1月に特定外来生物※に指定

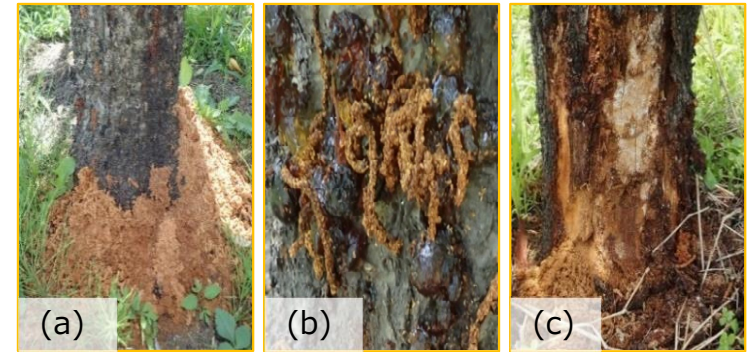
許可無しに「生きたまま運ぶこと」、「飼育すること」、「他の場所に放すこと」等が禁止された。

※外来生物法に基づき、外来生物であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定される



クビアカツヤカミキリが寄生すると、幹や枝から、明るい色でうどん状のフラスが大量に排出される

※フラス：幼虫が排出する、木くずと糞が混じったもの



- (a) 株元に大量に積もったフラス。パラパラした粉状になることもある。
- (b) フラス排出部分の拡大。フラスは「うどん状」になることが多い。
- (c) 被害が進行し、樹皮が剥がれ落ちた樹木。

2. 被害の特徴

幼虫が1～3年かけて樹木の内側を食い荒らし、**樹木が弱り、やがて枯れてしまう。**



(左) 食害によって枯死したモモ(果樹園)

(右) 食害によって枯死したサクラ(公園等)

3. クビアカツヤカミキリの一生

栃木県のモモ園における参考事例

